

F-35 女子青年層の勤労観の一調査 その1 —一般勤労者の場合—

知洋女大 酒サノブ子 金蘭短大 ○藤原冬

目的 変動する社会情勢の中で、若い世代の女子が「働く」ということや「余暇」をどのように考え、また何に「生きがい」を見いだしているかを調査し、先(49年10月)に行なわれたNHKの各年齢層を含む全国調査と比較して、女子青年層の勤労観を明らかにする一助にした。

方法 調査時期は50年12月～51年2月で、対象者は大阪府立夕陽丘女子高等職業訓練校生徒208人、大阪市および大阪市近郊在住の事務員40人、計255人で、集団面接して質問紙を配布し、回収した。

結果 NHKの全国調査(2618人)と比較してみると、全項目にわたって有意差がみられ、女子青年層の勤労観にはかなりの違いがあることを示唆している。また今回の調査対象を年齢別に、23才以下123人と24才以上132人とに分けてみても、また職種別に、家政関係職種123人とその他132人とに分けてみても、いづれも教項目について有意差がみられた。またさらに同地域の短大生312人と比較してみると、半数以上の項目に有意差がみられた。これらのことから、勤労観は年齢、職種、学厂などによりある程度の違いが生ることが推測された。